

ENGINEER

MPDP

ダイアリー

高崎 充弘



[Profile]

東京大学工学部卒業後、三井造船入社。米国レンスラー工科大学で修士課程修了後、(株)エンジニアの前身である双葉工具に入社。2004年に同社代表取締役社長に就任。独自の「MPDP理論」によるニッポンのモノづくり立国を提唱している。



第59回 水回りの救世主 ～ポンプラザウルス登場～

前号はカンブリア大爆発で生まれた新製品のなかからバイスザウルスをご紹介しましたが、今回はポンプラザウルスの開発秘話をお話します。ポンプラとはウォーターポンププライヤーの略称で、その名のとおり水道工事や配管作業でよく使われている工具です。そしてその先端にネジザウルスの特徴である縦溝を設け、ポンプラザウルスと命名しました。

開発のきっかけはバイスザウルスのように愛用者カードに記載された多くのユーザーの声ではありませんでした。今から約15年前、ちょうど初代ネジザウルスが完成し販売し始めたころ、日本経済新聞夕刊に載っていた出久根達郎さんの「レターの3枚目」という連載エッセーに目が留まりました。その日のテーマは「蛇口のいたずら？」で、おおむね次のような内容でした。

年末に自宅の蛇口から水が止まらなくなり、いったん元栓を閉める。パッキンを交換しようとしたが、ネジがつぶれていてドライバーは使えない。ホームセンターで工具を3種類ほど買ってきたが蛇口の奥まで届かない。結局、水道修理業者に来てもらったが、やはりネジが外せずプロでもお手上げだった。最後に漏水の程度を見てもらおうと元栓を開けたら、どういうことか、全く漏れない。蛇口もたまにはいたずらしたくなっただろうか？ ……というちょっと不思議なお話。

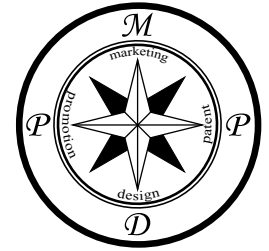
「こんなときこそネジザウルスの出番だ！ ぜひ出久根さんにお試しいただきたい！」

このコラムを目にしたときの私の興奮はお察しいただけるかと思います。すぐに新聞社気付でネジザウルスをお

送りしました。数日後、丁寧なお礼状と新刊書が届きましたので、期待しながら達筆のお手紙を読み進むと……なんと出久根さんは既にネジザウルスを1本お持ちのようでした。実は購入された3種の工具の一つだったのです。蛇口とネジの詳細な位置関係をスケッチで描いていただき、先がピンセットのように細くないと入らないとのコメントも添えられていました。自信満々でお送りした手前、恥ずかしくて穴があったら入りたい気持ちでしたが、蛇口のネジも外せるネジザウルスを考えたらどうかという優しいアドバイスのように感じました。

そのおかげもありネジザウルスは進化を始め、国内外のデザイン賞を受賞した6代目のネジザウルスZ（ゼータ）はスリムな先端形状で、奥まったネジも外せるようになりました（本稿2016年6月号）。しかし水道修理のプロにも愛用してもらうためには、蛇口のネジが外せるだけでなく水回りの作業に必要な機能の一つの工具にまとめたほうが便利ではないかと考えました。そこでポンプラをベースにしたネジザウルスの開発がスタートしました。MPDPプロセスを愚直に進めていき、出久根さんのエッセーから随分時間がかかりましたが、ザルボ（持ち出しソケット）の取り付け・取り外し、ケレップ（コマパッキン）の取り換え、止水栓回しなどマルチに対応できる、水回りの救世主、ポンプラザウルスが誕生しました。





銀：2017年12月号の「ネジザウルス大図鑑」は、映画ジュラシック・パークみたいやし、ストーリーも面白いと評判でっせ。

ウ：世間では新製品に「進化した〇〇」とかいう表現がよう使われるけど、ネジザウルスは恐竜だけに進化して当たり前やねん。自然でっしゃろ？ (*^^*)

高：ここまで進化したのかとビックリされるお客さまも多い。それぞれの種の特徴を理解いただくことが大切なんだ。

銀：それで動画もYouTubeにアップしましたな。オープニングが映画スター・ウォーズみたいで楽しそう。

ウ：皆さんぜひ一度、「ネジザウルス大図鑑」をインターネットで検索してみてね～。 (*^^*)

銀：ところで社長はん、ポンプラザウルスの原点が新聞のエッセーやったなんて全然知らなかったわ。作家の出久根はん、ご存じなでっか？

高：直接お会いしたことはないが、何度かお手紙を差し上げたりご著書を読ませていただいたりした。

ウ：あのエッセーがきっかけで、ポンプラザウルスが15年後にできたゆうたら、びっくりしはるやろな～。

銀：ちゅうか、遅すぎてもう忘れてはるわ！ (^_^)

ウ：そやけど、なんでこない時間かかりましたん？

高：「あらゆるネジトラブルをワンストップで解決する」という開発の方向性 (=ブランド戦略) が確立したのが2年前なんだ。

ウ：水回りの蛇口のネジも何とかせにやならんちゅうことで、出久根はんの記事を思い出したわけでんな。

銀：ほんならポンプラザウルスのM: Marketingは「いたずらっ子の蛇口くん」やな。 (*^^*)

ウ：次に開発のプロセスでっけど、P: Patentはどうなってますの？

高：ポンプラ先端の顎部に縦溝を設けるんだが、本体部にも独自のアイソセレス構造を考案したんだ。

銀：なんでっかその愛されるなんちゃら構造ちゅうんは？

高：銀次郎くんは当社サバゲ部のキャプテンだろう？

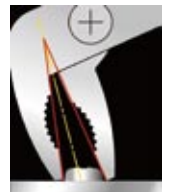
ハンドガンの構え方で、アイソセレス・スタンスって聞いたことないかな？

銀：もちろん知ってまんがな！ 両手を真っすぐ伸ばして撃ちまんねん。もう一つは、ウィーバー・スタイルゆうて、これはちょっと左右の旋回が問題で……。

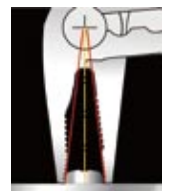
ウ：もおえて！ アイソセレス (isosceles) ちゅうのは二等辺三角形のように左右の長さが均等のことや。

銀：そうゆうたら両腕と肩がちょうど二等辺三角形になるわ。アイソセレスでそういう意味やったんか。 (^_^)

高：通常のポンプラは顎の中心線と本体の回転軸がずれているだろう。このためネジの頭を斜めからしか掴めないので、縦溝があっても滑ってしまうんだ。



ウ：ポンプラザウルスのアイソセレス構造やったらネジの頭を真上から均等に掴めんな。これやったら縦溝が100パーセント有効に機能するわけや。



高：アイソセレス以外にも、ポンプラザウルスには複数の特許技術が含まれているんだ。商標も前号のバイスザウルス同様出願済みだ。

銀：D: Designとしては、水回りの作業に必要な機能を全てこの一本に搭載したことやね。

ウ：ザルボ、ケレップ、止水栓の扱いはお手の物。もちろん蛇口のネジ外しは完璧でおます。 (*^^*)

銀：ホンマ、水回りの救世主やな。頼りになるわ～。 (*^^*)

高：最後のP: Promotionは、ご家庭でDIYをされる方のためにも、分かりやすい動画をCGで制作したんだよ。

ウ：皆さん「ポンプラザウルス」で検索してくださいね～。

高：次号はカンブリア大爆発で誕生した「アノ」新製品の誕生秘話です。どうぞお楽しみに！